

麻酔科

【スタッフ】

平田 孝夫、福田 稔、尾野本 真徳、長畑 佐和子

【概要】

手術部スタッフと協力し「手術室で働く全ての人が、自信を持って、誇らしく働く環境、そしてお互いを尊重し、助け合いの精神」をモットーに手術室運営を行っております。術中の麻酔管理のみならず、術前・術後を含む周術期医療の安全向上を多職種スタッフとともに努めています。

令和5年3月瀬戸口薫医師の退職に伴い麻酔業務の負担増が懸念されましたが、令和4年10月より看護師による手術室内での特定行為の実施の効果もあり、過度の負担を招くこともなく、予定手術の約80%を17時までに搬入、19時にはほぼすべての手術症例を終了できるように、従来通り運用できました。令和6年4月に始まる医師の働き方改革に対応できるように手術部・麻酔科の環境を整備しています。

麻酔管理症例数は前年と比べ117例少ない1,645例でした。

教育・指導面では、「患者一人ひとりに安全で優しい、安心できる麻酔の提供」を心がけるといふ当科の目標のもと、個々の症例に対し、麻酔方法・周術期管理について検討しています。研修医6名の麻酔科研修及び指導と2名の救急救命士による挿管実習を行いました。また、厚生労働省「特定行為に係る看護師の研修制度」の研修機関の協力施設として、特定行為が行える看護師の育成に取り組みました。

【麻酔実績】 麻酔科管理症例 令和5年1月～12月 単位：例

全身麻酔（吸入）	633
全身麻酔（TIVA：全静脈麻酔）	146
全身麻酔（吸入）＋硬・脊、伝麻	798
全身麻酔（TIVA：全静脈麻酔）＋硬・脊、伝麻	51
脊髄くも膜下麻酔	8
硬膜外麻酔	2
伝達麻酔	4
その他	3
計	1,645